

日本泥炭地学会理事会／総会議事録

日時:2024年6月21日(金) 17:00~

場所:web (Zoom)によるオンライン

参加者:オンライン参加者(8名)、委任状(9名)。理事会、総会ともに成立。

議題

1) 活動報告

JPSとしての活動はなかったが、大崎会長が会長として以下の活動を行った。

The 4th Indonesia-Japan Forest Talk の開催を、2023年11月8日東京で行った。これに参加したインドネシア関係者の北海道内泥炭地訪問を、JPS 会員らもサポートした。

ドバイで行われた COP28 において、大崎会長が JPS 所属として講演を行なった。

2) 会計報告

IPS への会費は令和 4 年 11 月を最後に払っていない。JPS 会費も令和 3 年度を最後に徴収していない。

3) 今年度の活動予定

泥炭に関するプロジェクトが JICA とインドネシアで動き始めたので、これに関与する。

会員が論文、本を出版したらその情報を JPS ホームページで知らせる。

4) 今後の日本泥炭地学会 (JPS) 運営について

・国際泥炭学会 (IPS) からの退会。JPS と IPS の両者の活動が低下しているため、今後 IPS へは個人で対応する。

・会費の廃止 (IPS への上納金が不要となるため)、会計の廃止、監査の廃止。残余金は会長の管理とし、総会に報告

・JPS と熱帯生態学会との連携強化

熱帯生態学会では、熱帯生態学会会員と同等な資格で発表ができる。JPS 会員の会費が無料となると、熱帯生態学会員とのバランスが取れないので、この点を引き続き検討する。

・名誉会員について

高橋、神谷元会員を想定して作られ、名誉会員を設置することは同意された。